

ミラノ万博参加者のための現地交通ガイド

パリ事務所

35 自治体が参加予定のミラノ万博

2015 年 5 月 1 日から 10 月 31 日まで、イタリア・ミラノで国際博覧会（以下、ミラノ万博）が開催されています。110 ヘクタールの広大な敷地に、日本を含む約 140 か国が出展し、約 2,000 万人の来場が予想されています。

日本館・イベント広場で開催される催しには、35 の地方自治体の参加が予定されており、多くの自治体関係者が日本から現地を訪れることと思われます。そこで今回は、ミラノ万博に来場予定の皆様の一助となることを願って、開幕前の 4 月にミラノを視察したクレアパリ事務所職員が、現地の交通事情などをレポートします。

空港からミラノ市内へのアクセス

ミラノ周辺には 3 つの国際空港がありますが、このうち日本からの訪問客が主に利用するのは、マルペンサ国際空港とリナーテ国際空港の 2 つです。

日本からの直行便が到着するのは、ミラノの北西 50 キロに位置するマルペンサ国際空港。ミラノ中央駅行きの 2 種類のシャトルバスがそれぞれ 20 分間隔で運行されており、どちらも料金は片道 10 ユーロ、所要時間は約 1 時間です。市内まで列車でアクセスすることも可能で、中央駅（10 ユーロ）、カドルナ駅（11 ユーロ）まで 40～50 分程度で到着します。

リナーテ国際空港には、パリなどヨーロッパの他の都市からの便が多く到着します。ミラノの中心部にはこちらの空港のほうが近く、シャトルバスやタクシーで約 30 分。中央駅行きのバス 2 種類がそれぞれ 30 分間隔で出ており、実質 15 分に 1 本の頻度で運行しています。料金はどちらも 5 ユーロです。バス乗り場とタクシー乗り場は、いずれも到着ロビーを出てすぐの目立つ場所にあります。



リナーテ空港の到着口



リナーテ空港のバス乗り場（奥）とタクシー乗り場（手前）

なお、ミラノ万博のメイン会場は、マルペンサ空港からミラノ市内に向かう途中に位置しており、バスやタクシーで直接万博会場へ入ることも可能です。その場合、マルペンサ空港からの所要時間は約 30 分です。

移動はミラノ中央駅を起点に

他の都市から列車でミラノに入る場合、ミラノ中央駅が主な玄関口となります。空港からのシャトルバスも中央駅のすぐ隣の広場に到着し、周囲にはホテルも数多くあることから、ミラノ万博会場に向かわれる方の多くが、この中央駅を起点とされることと思います。

今回、クレアパリ事務所では空路での往復を予定していましたが、出発の当日に航空管制官のストライキにより便が欠航するというアクシデントがあり、急遽、空港から引き返して列車での移動に切り替えました。残念ながら、ヨーロッパでの移動にこうした不測の事態はつきものです。乗り継ぎ便を利用される場合は、念のため陸路での移動経路を調べておかれるとよいでしょう。

パリからスイスのチューリヒ経由で9時間列車に揺られ、われわれがミラノに到着したのは 22 時過ぎ。夜間ということもあり、治安面に不安がありましたが、駅周辺は落ち着いた雰囲気でした。しかし、駅の構内ではスリや置き引きの被害が多発しているようですので、周囲には十分気を配る必要があります。また列車がホームに到着すると、台車を持った男性が降車ドアの前で待ち構えており、荷物を運ぶのを手伝おうとしますが、チップを要求されますのでご注意ください。

中央駅のホームは駅舎の2階で、タクシーやバス、地下鉄に乗り換えるにはエスカレーターや階段で1階に下ります。タクシー乗り場はホームを抜けて左側のエスカレーターを下りた先(駅正面から向かって右側)、各空港行のシャトルバス乗り場はその隣にあります。地下鉄の乗り場へ向かう通路は駅構内にあり、オレンジ色の「M」のマークが目印です。



中央駅前のタクシー乗り場。右手奥が駅舎



中央駅の地下鉄乗り場入口。構内の「METRO」の表示に従って進むと、オレンジ色の「M」マークが見つかります

ミラノ市内から万博会場へ

万博のメイン会場はミラノの北西部に位置し、中心部から地下鉄や鉄道でアクセスが可能です。地下鉄の場合、1 号線（路線図では赤のラインで表示）の「RHO-FIERA（ロー・フィエラ）」駅で下車します。市内中心部からの所要時間は約 30 分。料金は片道 2.50 ユーロです。中央駅から向かう場合、まず 2 号線（路線図では緑のラインで表示）に乗り、カドルナ（CADORNA F.N.）で 1 号線に乗り換えます。中央駅の地下鉄の自動券売機は紙幣、硬貨、クレジットカードに対応していました。自動券売機では、トップ画面に RHO FIERA 行きのチケットが片道・往復それぞれ表示されていますので迷うことはありませんが、ミラノ市内限定のチケット（1.50 ユーロ）を購入されないようご注意ください。

なお、チケットの購入方法を教えるふりをして現金を持ち逃げする窃盗犯もいるようですので、制服を着た駅員以外の人と話しかけてきたら警戒するようにしましょう。



中央駅の地下鉄券売機。駅員が購入方法を説明してくれる場合も



RHO FIERA 駅は万博会場西側入口に直結

鉄道の場合は、中央駅から 10 分程度。料金は片道 9.00 ユーロです。地下鉄や鉄道を使う場合、会場西側のゲートから入場するため、会場東側に位置する日本館へは、やや長い距離を徒歩で移動することになります。

市内からタクシーを使ってアクセスする場合、会場東側または南東側のゲート付近の駐車場に停車します。日本館に直接向かうためには、こちらの経路のほうが便利です。道路の混雑状況にもよりますが、市内からの所要時間は 30 分～40 分程度です。

ミラノ市内でタクシーを拾うには、市内各所にある乗り場から乗る必要があります。日本と異なり流しのタクシーはほとんど走っておらず、また捕まえられたとしても法外な料金を要求する白タクである可能性もありますので、必ず指定のタクシー乗り場から乗車するようにしましょう。あらかじめ目的地の住所と周辺の地図を印刷しておくとう便利です。

なお、上記以外の交通手段としてトラム（路面電車）があります。ドゥオモなど中心部を通るトラム 12 号線の北側終点「ROSERIO」駅が万博会場東側ゲート近くに位置しており、地下鉄の駅よりも日本館に近い場所で降車できます。しかしトラムは地下鉄などに比べて移動速度が遅く、到着時刻も道路の混雑状況などに左右されます。事故で地下鉄が

運行しない場合などの非常時の手段として考えたほうがよいでしょう。

現地でのチケット購入方法

多くの方は、事前にインターネットでチケットを購入されると思います。チケットには日付指定のもの（フィックスデイト）と、購入後に入場日を決められるもの（オープンデイト）があり、フィックスデイトは1日券と連続2日券、オープンデイトは1日券、2日券、3日券があります。インターネットで購入したチケットは、スマートフォン等の画面に保存して入場口で提示することもできますが、現地のインターネット接続環境が良くないという状況も考えられますので、念のため紙にプリントしておいたほうがよいでしょう。

現地でチケットを購入する場合は、ミラノ市内中心部・スフォルツェスコ城前のカイローリ広場（地下鉄1号線 CAIROLI 駅を出てすぐ）にあるインフォメーションセンター「EXPO GATE」で購入が可能です。しかし会期中は混雑が予想されますので、できるだけインターネットで購入されることをおすすめします。



チケットの購入は EXPO GATE で



内部ではさまざまな企画展示会も開催

もうひとつの万博会場

ミラノ万博のメイン会場以外に、ミラノ市内にももうひとつのパビリオンがあります。場所は中心部からほど近い、センピオーネ公園の西側にあるデザイン美術館「パラッツォ・デッラ・トリエンナーレ」。屋内・屋外合わせて 7,000 m²の会場で、「芸術と食」をテーマに 1851 年の第一回ロンドン万博から現在までの食を題材とした芸術作品を展示しています。会期は 11 月 1 日まで、入場券は万博メイン会場と共通ですので、日程に余裕があれば視察コースに組み込まれてはいかがでしょうか。

治安・英語使用は大きな問題なし

ミラノを訪れる多くの方が不安に思われるのが、治安と言葉ではないでしょうか。ミラノはイタリアの中では比較的治安がよい街と言われており、実際に現地を歩き回った感覚では、日中に限ってはとくに危険な雰囲気はありませんでした。今回、地下鉄駅構内を視察中に、許可なく写真を撮影しないようにと注意されるなど、万博開幕に向けて警備が強

化されているようにも感じました。路上でのスリや押し売りなどの軽犯罪については、注意していれば被害に遭うことはないでしょう。また、観光地をはじめ、地下鉄の駅など多くの場所で英語が問題なく通じました。言葉で困る場面は少ないと思われます。

ミラノ万博への出展は、ヨーロッパをはじめとする世界中の方々に日本の地方の魅力を伝える大きな機会となると期待されます。現地での自治体の活動について、クレアパリ事務所でもサポートさせていただきます。ぜひご相談ください。

(谷崎所長補佐 熊本市派遣)

【関連 HP リンク】

ミラノ万博日本館公式サイト：<http://www.expo2015.jp/>

ミラノ万博日本館の概要（経済産業省）：

<http://www.meti.go.jp/policy/exhibition/milano2015.html>

ミラノ万博公式サイト（英語版）：

<http://www.expo2015.org/en/index.html?packedargs=op=changeLang>

